

# 2019年12月期 第1四半期業績 説明会資料

The AGC logo is displayed in a white rectangular box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned at the top right corner of the letter 'G'.

AGC株式会社

2019年5月8日

Your Dreams, Our Challenge

■ 2019年12月期 第1四半期業績	P.3
1. 業績のポイントと主要項目	P.4
2. セグメント別・地域別の状況	P.15
■ 2019年 通期業績の見通し	P.26
付属資料	P.33

# 2019年12月期 第1四半期業績

# 1. 業績のポイントと主要項目

売上高	3,616億円	前年同期比 108 億円( 2.9% )の減収
営業利益	209億円	同 98 億円( 31.9% )の減益
税引前利益	235億円	同 110 億円( 31.8% )の減益
親会社の所有者に帰属する		
四半期純利益	156億円	同 92 億円( 37.0% )の減益

- 液晶ガラス基板や東南アジアにおける苛性ソーダの価格下落、自動車用ガラスの出荷減、ユーロ安により減収
- 液晶用ガラス基板の販売価格下落や新規設備立ち上げ、自動車用ガラス、化学品の製造コスト増加により減益

# 連結純損益計算書

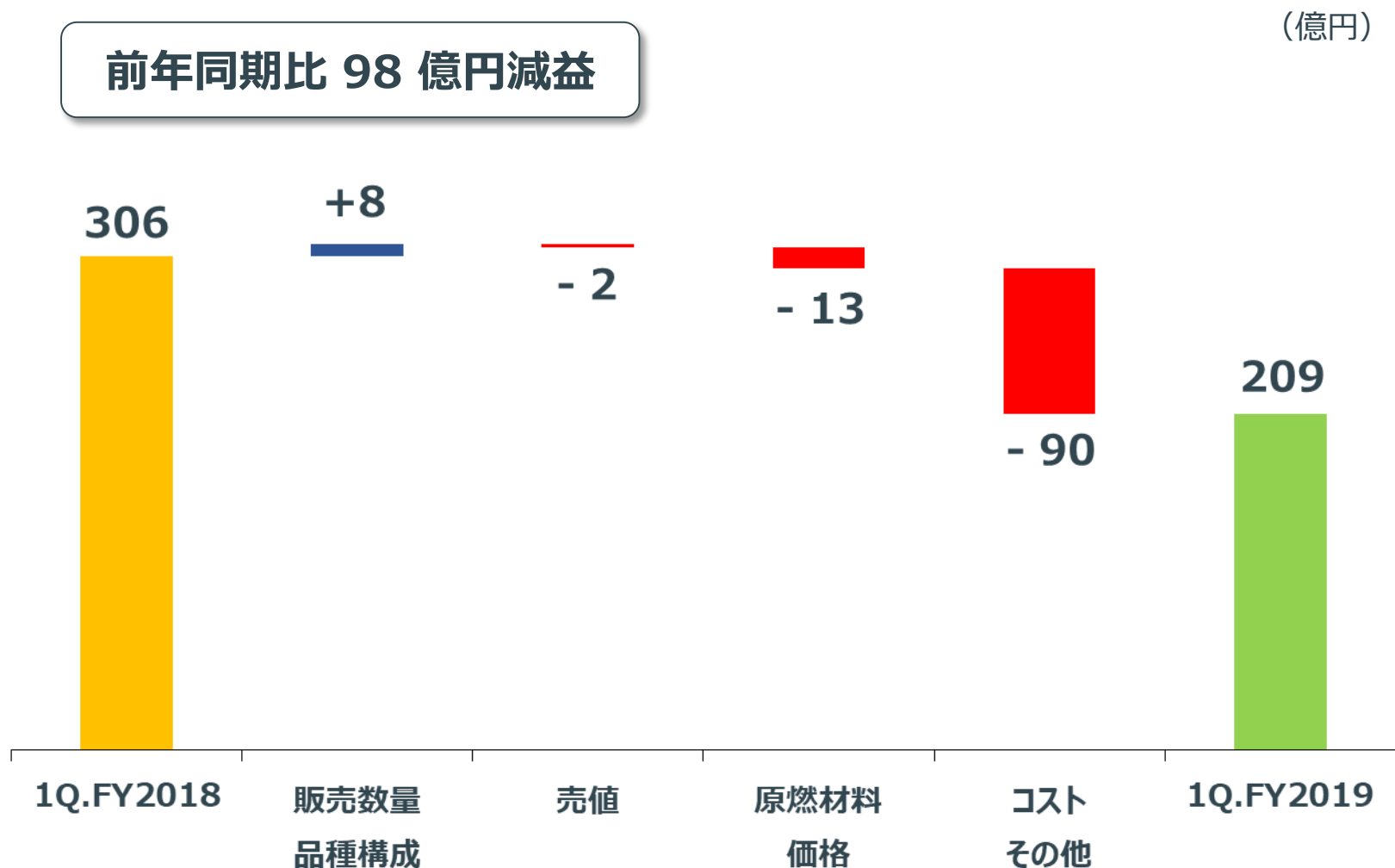
	1Q		(億円)
	FY2018	FY2019	増減
<b>売上高</b>	3,725	<b>3,616</b>	▲ 108 *
<b>営業利益</b>	306	<b>209</b>	▲ 98
その他収支	45	<b>29</b>	
<b>事業利益</b>	351	<b>237</b>	▲ 114
金融収支	▲ 7	▲ 2	
<b>税引前利益</b>	344	<b>235</b>	▲ 110
法人所得税費用	▲ 71	▲ 55	
<b>四半期純利益</b>	273	<b>180</b>	▲ 93
<b>親会社の所有者に     帰属する四半期純利益</b>	248	<b>156</b>	▲ 92
非支配持分に 帰属する四半期純利益	25	<b>24</b>	
為替レート	JPY/USD	108.30	<b>110.20</b>
(期中平均)	JPY/EUR	133.22	<b>125.15</b>
原油	\$/BBL (Dubai)	63.9	<b>63.5</b>

\* うち、為替差影響は、1Q 売上高▲53億円

# セグメント別業績 前年同期比較

	1Q		(億円)	
	FY2018	FY2019	増減	増減%
<b>売上高</b>	3,725	<b>3,616</b>	▲ 108	▲ 2.9%
ガラス	1,943	<b>1,861</b>	▲ 81	▲ 4.2%
電子	560	<b>594</b>	+ 35	+ 6.2%
化学品	1,148	<b>1,127</b>	▲ 21	▲ 1.8%
セラミックス・その他	183	<b>185</b>	+ 2	+ 1.1%
消去	▲ 109	▲ <b>152</b>	▲ 43	
<b>営業利益</b>	306	<b>209</b>	▲ 98	▲ 31.9%
ガラス	77	<b>35</b>	▲ 42	▲ 54.6%
電子	57	<b>25</b>	▲ 32	▲ 56.4%
化学品	170	<b>144</b>	▲ 26	▲ 15.1%
セラミックス・その他	3	<b>6</b>	+ 3	-
消去	0	▲ <b>1</b>	▲ 1	

# 営業利益増減要因分析(1Q.FY2018 vs. 1Q.FY2019)





# セグメント別業績 前四半期比較

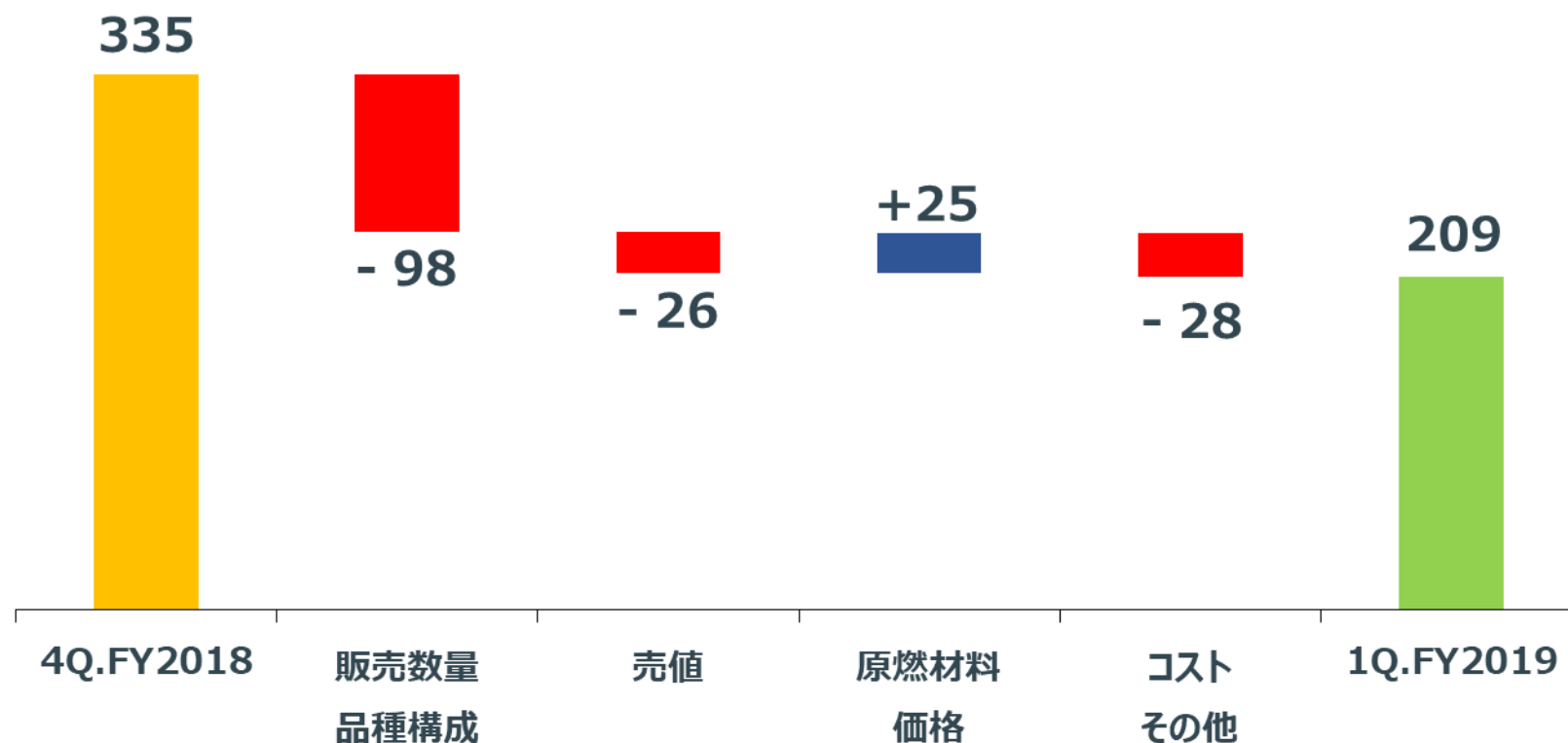
(億円)

	4Q.FY2018	1Q.FY2019	増減	増減%
<b>売上高</b>	3,968	<b>3,616</b>	▲ 351	▲8.9%
ガラス	1,953	<b>1,861</b>	▲ 92	▲4.7%
電子	670	<b>594</b>	▲ 75	▲11.2%
化学品	1,295	<b>1,127</b>	▲ 167	▲12.9%
セラミックス・その他	202	<b>185</b>	▲ 17	
消去	▲ 152	▲ <b>152</b>	▲ 0	
<b>営業利益</b>	335	<b>209</b>	▲ 127	▲37.8%
ガラス	44	<b>35</b>	▲ 10	▲21.4%
電子	78	<b>25</b>	▲ 53	▲68.2%
化学品	209	<b>144</b>	▲ 64	▲30.9%
セラミックス・その他	4	<b>6</b>	+ 2	
消去	0	▲ <b>1</b>	▲ 1	

# 営業利益増減要因分析(4Q.FY2018 vs. 1Q.FY2019)

前四半期比 127 億円減益

(億円)



	(億円)			
	2018/12	2019/3	増減	
現金及び現金同等物	1,235	<b>1,396</b>	+ 161	
棚卸資産	2,770	<b>2,915</b>	+ 144	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	12,547	<b>13,024</b>	+ 477	← うち、 ・IFRS16号適用による 使用権資産の計上 + 389億円 ・為替差影響 ▲4
その他	5,806	<b>5,696</b>	▲ 110	
<b>資産合計</b>	<b>22,358</b>	<b>23,030</b>	+ 673	← うち、 ・為替差影響 +13
有利子負債	5,418	<b>6,018</b>	+ 600	←
その他	4,404	<b>4,293</b>	▲ 110	うち、 ・IFRS16号適用による リース負債の計上 + 392億円
<b>負債の部</b>	<b>9,822</b>	<b>10,312</b>	+ 490	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,372	<b>11,532</b>	+ 160	
非支配持分	1,164	<b>1,187</b>	+ 23	
<b>資本の部</b>	<b>12,536</b>	<b>12,719</b>	+ 183	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>22,358</b>	<b>23,030</b>	+ 673	
<b>D/E比率</b>	0.43	<b>0.47</b>		

	1Q	
	FY2018	FY2019
		(億円)
税引前利益	344	<b>235</b>
減価償却費及び償却費	303	<b>335</b>
運転資金増減	▲ 141	▲ <b>142</b>
その他	▲ 110	<b>130</b>
<b>営業活動によるCF</b>	397	<b>558</b>
<b>投資活動によるCF</b>	▲ 349	▲ <b>479</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	48	<b>79</b>
有利子負債増減	240	<b>213</b>
支払配当	▲ 124	▲ <b>133</b>
その他	22	▲ <b>7</b>
<b>財務活動によるCF</b>	138	<b>73</b>
現金等に係る換算差額	▲ 47	<b>8</b>
現金等の増加額	139	<b>161</b>

	1Q (億円)	
	FY2018	<b>FY2019</b>
設備投資額	497	<b>426</b>
減価償却費	303	<b>335</b>
研究開発費	105	<b>111</b>

# 為替換算・連結範囲変更の影響（前年同期比較）

(億円)

売上高	全社計*	ガラス	電子	化学品
1Q.FY2019	<b>3,616</b>	<b>1,861</b>	<b>594</b>	<b>1,127</b>
前年同期比	▲ 108	▲ 81	+ 35	▲ 21

[以下影響を除く前期比]	▲ 93	▲ 24	+ 4	▲ 32
為替換算の影響	▲ 53	▲ 57	+ 1	+ 4
連結範囲変更の影響	+ 37	-	+ 30	+ 7

\*全社計には、セラミックス・その他、および消去の数値が含まれる為、各セグメントの合計とは一致しない

## 2. セグメント別・地域別の状況

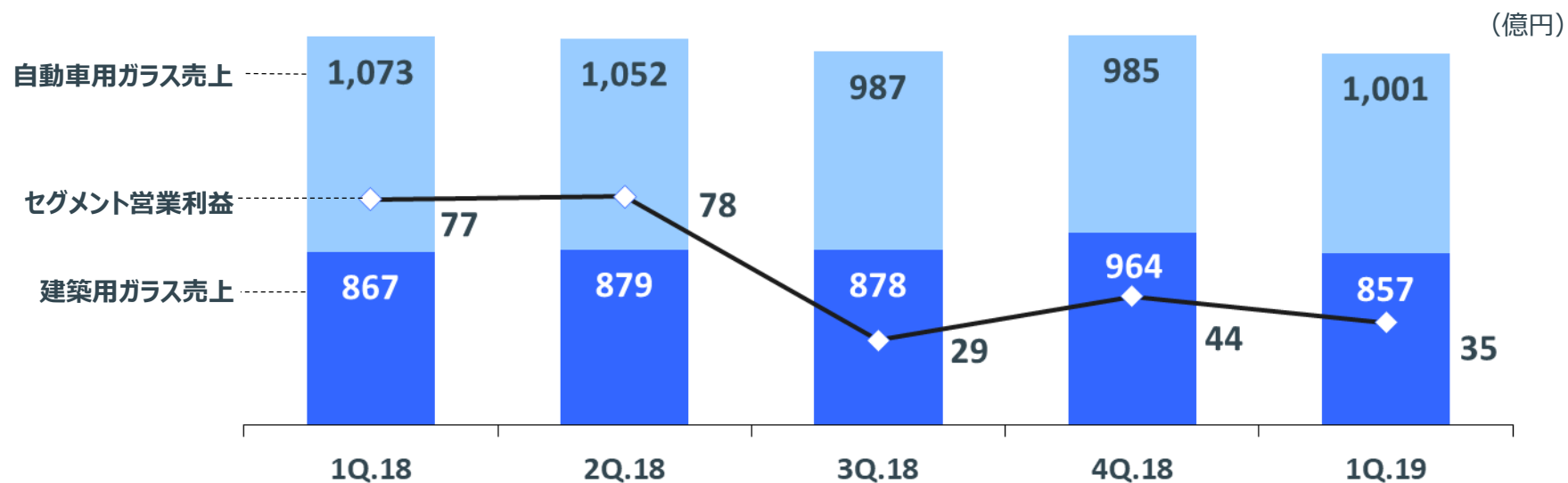
## ■ 以下セグメントで組織改正の影響が発現





# ガラス セグメント (1)

	1Q		増減
	FY2018	FY2019	
<b>売上高</b>	1,943	<b>1,861</b>	▲ 81
建築用ガラス	867	<b>857</b>	▲ 10
自動車用ガラス	1,073	<b>1,001</b>	▲ 71
(セグメント間)	3	4	
<b>営業利益</b>	77	<b>35</b>	▲ 42



## 【前年同期比】

### 〔売上高〕 減収

#### 建築用ガラス

- 日本、欧州の出荷堅調も、ユーロ安の影響で減収

#### 自動車用ガラス

- 日本、ロシアを除く地域での出荷減、ユーロ安の影響で減収

### 〔営業利益〕 減益

#### 建築用ガラス

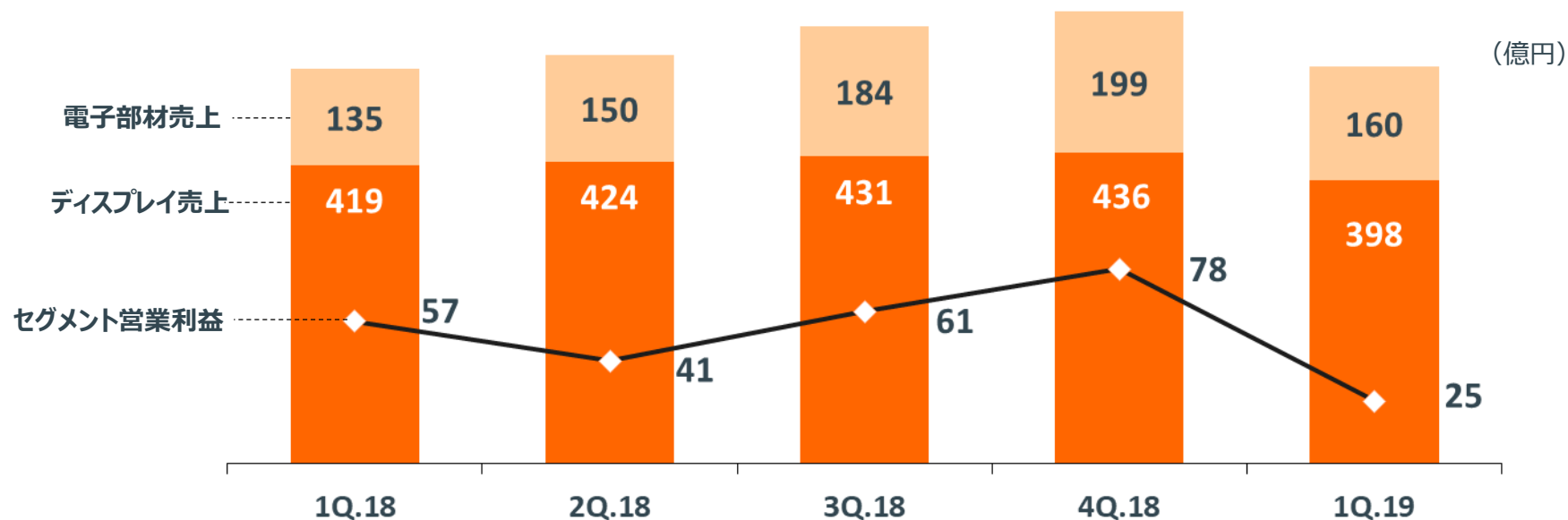
- 日本、欧州での出荷増、販売価格改善で増益

#### 自動車用ガラス

- 18年4Qに続き、日本での受注量増加により生産効率が悪化
- 19年1Qに日本の素板生産設備の修繕実施により製造原価上昇

# 電子 セグメント (1)

	1Q		増減
	FY2018	FY2019	
<b>売上高</b>	560	<b>594</b>	+ 35
ディスプレイ	419	<b>398</b>	▲ 21
電子部材	135	<b>160</b>	+ 25
(セグメント間)	6	<b>36</b>	
<b>営業利益</b>	57	<b>25</b>	▲ 32



## 【前年同期比】

### 〔売上高〕 増収

#### ディスプレイ

##### -液晶用ガラス基板

- 販売数量は前年同期並み、販売価格は下落幅縮小

##### -ディスプレイ用特殊ガラス

- ドラゴントレイルは出荷好調

#### 電子部材

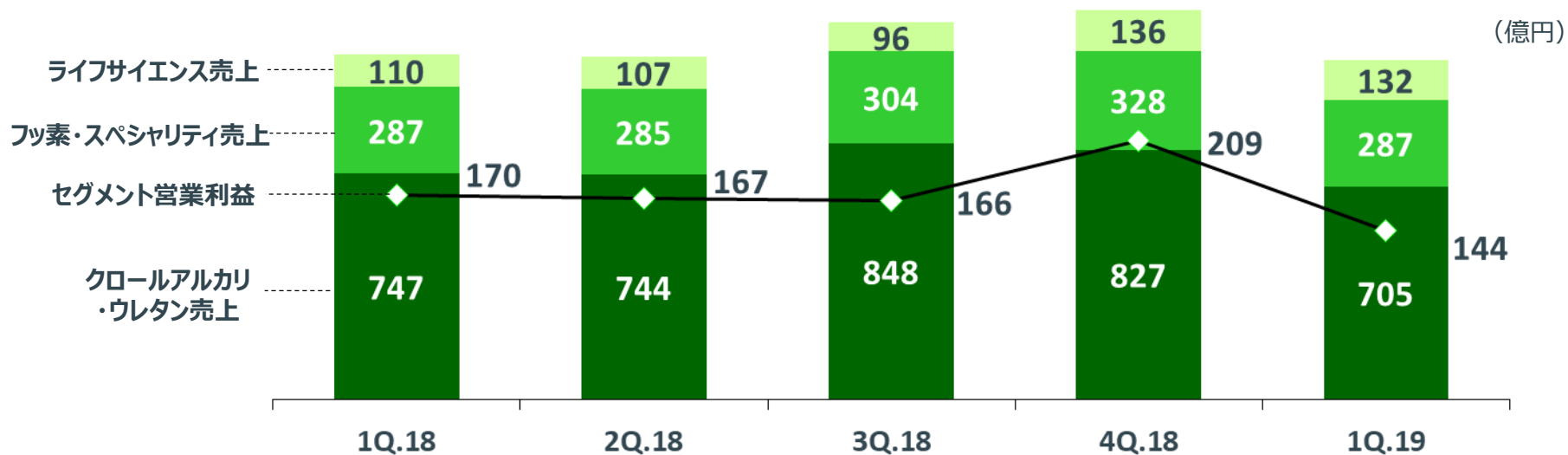
- オプトエレクトロニクス用部材の出荷減少も、半導体関連製品の出荷増加
- 1Qよりパーク・エレクトロケミカル社 エレクトロニクス事業が業績寄与

### 〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板の販売価格下落
- 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げに伴う減価償却費増加

# 化学品 セグメント (1)

	1Q		(億円)
	FY2018	FY2019	
<b>売上高</b>	1,148	<b>1,127</b>	<b>▲ 21</b>
クロールアルカリ・ウレタン	747	<b>705</b>	<b>▲ 42</b>
フッ素・スペシャリティ	287	<b>287</b>	+ 0
ライフサイエンス	110	<b>132</b>	+ 21
(セグメント間)	3	<b>3</b>	
<b>営業利益</b>	170	<b>144</b>	<b>▲ 26</b>



## 【前年同期比】

### 〔売上高〕 減収

#### クローラルカリ・ウレタン

- 東南アジアでの苛性ソーダ販売価格の下落

#### フッ素・スペシャリティ

- フッ素関連製品の出荷は堅調

#### ライフサイエンス

- バイオ医薬品原薬の受託件数は増加

### 〔営業利益〕 減益

- 国内拠点の定期大規模修繕や電力コストの上昇により製造原価が増加

	1Q		(億円)	
	FY2018	FY2019	増減	増減%
<b>売上高</b>	3,725	<b>3,616</b>	▲ 108	▲ 2.9%
日本・アジア	2,403	<b>2,341</b>	▲ 62	▲ 2.6%
アメリカ	422	<b>428</b>	+ 6	+ 1.4%
ヨーロッパ	899	<b>847</b>	▲ 52	▲ 5.8%
<b>営業利益</b>	306	<b>209</b>	▲ 98	▲ 31.9%
日本・アジア	328	<b>240</b>	▲ 88	▲ 26.7%
アメリカ	15	<b>21</b>	+ 6	+ 40.6%
ヨーロッパ	45	<b>41</b>	▲ 3	▲ 7.7%
地域共通費用	▲ 82	▲ <b>94</b>	▲ 13	-

# 地域別業績 前四半期比較

	4Q.FY2018	1Q.FY2019	増減	増減%
				(億円)
				増減
				増減%
<b>売上高</b>	3,968	<b>3,616</b>	▲ 351	▲8.9%
日本・アジア	2,691	<b>2,341</b>	▲ 349	▲13.0%
アメリカ	430	<b>428</b>	▲ 2	▲0.5%
ヨーロッパ	847	<b>847</b>	▲ 0	▲0.0%
<b>営業利益</b>	335	<b>209</b>	▲ 127	▲37.8%
日本・アジア	388	<b>240</b>	▲ 148	▲38.1%
アメリカ	21	<b>21</b>	+ 0	+1.8%
ヨーロッパ	34	<b>41</b>	+ 7	+21.3%
地域共通費用	▲ 108	▲ <b>94</b>	+ 14	-



# 売上高 セグメント・地域別展開

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	<b>1Q.FY2019</b>	<b>284</b>	<b>112</b>	<b>461</b>	-	<b>857</b>
		1Q.FY2018	276	112	479	-	867
	自動車ガラス	<b>1Q.FY2019</b>	<b>528</b>	<b>175</b>	<b>298</b>	-	<b>1,001</b>
		1Q.FY2018	538	193	342	-	1,073
		<b>1Q.FY2019</b>	<b>811</b>	<b>287</b>	<b>760</b>	<b>4</b>	<b>1,861</b>
		1Q.FY2018	814	305	821	3	1,943
電子	<b>1Q.FY2019</b>	<b>516</b>	<b>40</b>	<b>2</b>	<b>36</b>	<b>594</b>	
	1Q.FY2018	522	33	0	6	560	
化学品	<b>1Q.FY2019</b>	<b>938</b>	<b>101</b>	<b>84</b>	<b>3</b>	<b>1,127</b>	
	1Q.FY2018	982	85	78	3	1,148	
セラミックス・その他	<b>1Q.FY2019</b>	<b>76</b>	-	-	<b>109</b>	<b>185</b>	
	1Q.FY2018	86	-	-	97	183	
消去	<b>1Q.FY2019</b>	-	-	-	<b>▲ 152</b>	<b>▲ 152</b>	
	1Q.FY2018	-	-	-	▲ 109	▲ 109	
合計	<b>1Q.FY2019</b>	<b>2,341</b>	<b>428</b>	<b>847</b>	-	<b>3,616</b>	
	1Q.FY2018	2,403	422	899	-	3,725	

# 2019年 通期業績の見通し

<b>売上高</b>	<b>16,000億円</b> (上期 7,750億円)	前年比 771億円 ( 5.1%) の増収
<b>営業利益</b>	<b>1,250億円</b> (上期 500億円)	同 44億円 ( 3.7%) の増益
<b>税引前利益</b>	<b>1,180億円</b>	同 104億円 ( 8.1%) の減益
親会社の所有者に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>780億円</b>	同 116億円 (12.9%) の減益

- **営業利益は5期連続増益を見込む**
- **親会社の所有者に帰属する当期純利益は減益となる見通し**
  - **その他費用が引き続き低いレベルで推移も、2018年の特殊要因が剥落**

# 2019年 通期業績見通しの主要項目

	FY2018	FY2019 予想	(億円)
<b>売上高</b>	15,229	<b>16,000</b>	前年比 771億円 ( 5.1%) の増収
(上期)	7,455	7,750)	
<b>営業利益</b>	1,206	<b>1,250</b>	同 44億円 ( 3.7%) の増益
(上期)	603	500)	
<b>税引前利益</b>	1,284	<b>1,180</b>	同 104億円 ( 8.1%) の減益
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	896	<b>780</b>	同 116億円 (12.9%) の減益
<b>一株当たり配当金 (円)</b>	115	<b>120</b>	
<b>営業利益率</b>	7.9%	<b>7.8%</b>	
<b>ROE</b>	7.7%	<b>6.9%</b> <sup>*1</sup>	
<b>為替レート</b> (期中平均)	JPY/USD	110.43	<b>110</b>
	JPY/EUR	130.42	<b>125</b>
<b>原油</b>	\$/BBL(Dubai)	69.4	<b>60</b>
<b>エチレン</b>	USD/MT (CFR SEA)	1,141	<b>900</b>

\*1 FY2019予想のROEは、2018年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

## 【ガラスセグメント】

### 〔売上高〕 増収

#### 建築用ガラス

- 各地域で数量が堅調に推移、加えてブラジル新窯稼働開始
- 日本、欧州で前期に行った値上げがフルに寄与

#### 自動車用ガラス

- 堅調な既存事業に加え、車載ディスプレイ用カバーガラス事業が電子セグメントより移管

### 〔営業利益〕 増益

#### 建築用ガラス

- 堅調な販売や前期値上げのフル寄与に加え、生産性の改善により製造原価低減

#### 自動車用ガラス

- 前年下期に日本で悪化した生産効率は、本年下期から平常状態に戻る
- 車載ディスプレイ用カバーガラス事業の移管

## 【電子セグメント】

\*車載ディスプレイ用カバーガラス事業はガラスセグメントに移管

### 〔売上高〕 増収

#### ディスプレイ

##### -液晶用ガラス基板

- G11対応設備が立ち上がり市場成長以上に出荷数量が増加
- 価格下落幅は前年よりさらに縮小する見込み

##### -ディスプレイ用特殊ガラス

- ドラゴントレイルの出荷数量が増加

#### 電子部材

- オプトエレクトロニクス用部材、半導体関連製品ともに出荷増

### 〔営業利益〕 減益

- 液晶用ガラス基板は販売数量増も、G11対応設備の償却費が増加し価格はマイルドに下落
- ディスプレイ用特殊ガラスはドラゴントレイルが出荷増、前期発生在庫処分損がなくなる
- 電子部材は半導体関連製品を中心に業績拡大

## 【化学品セグメント】

### 〔売上高〕 増収

#### クローラルカリ・ウレタン

- クロアリ製品の価格改善

#### フッ素・スペシャリティ

- フッ素関連製品の出荷が堅調に推移

#### ライフサイエンス

- 合成医農薬・バイオサイエンスともに、前期までの積極投資により生産能力が拡大

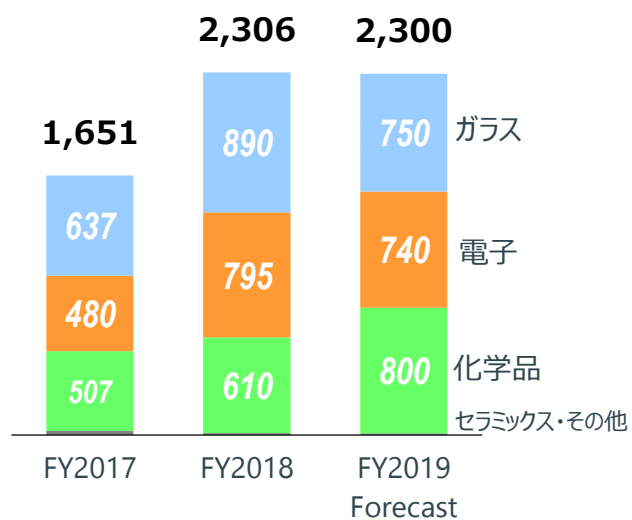
### 〔営業利益〕 増益

- クロアリ製品の価格スプレッド改善

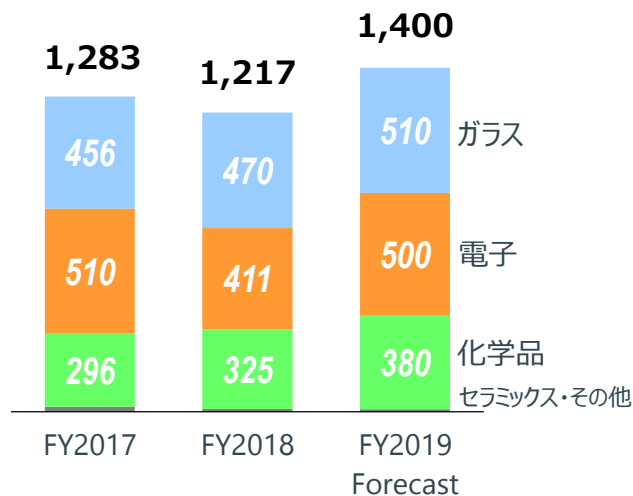
- ライフサイエンスは順調に規模を拡大

(億円)

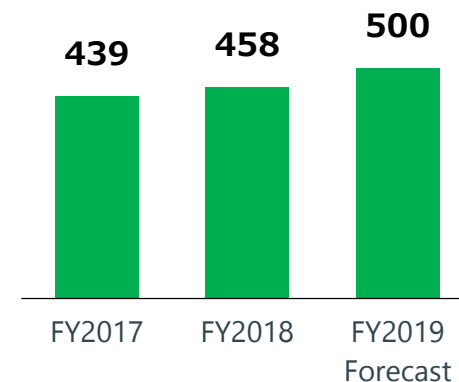
## 設備投資 (M&A除く)



## 減価償却費



## 研究開発費

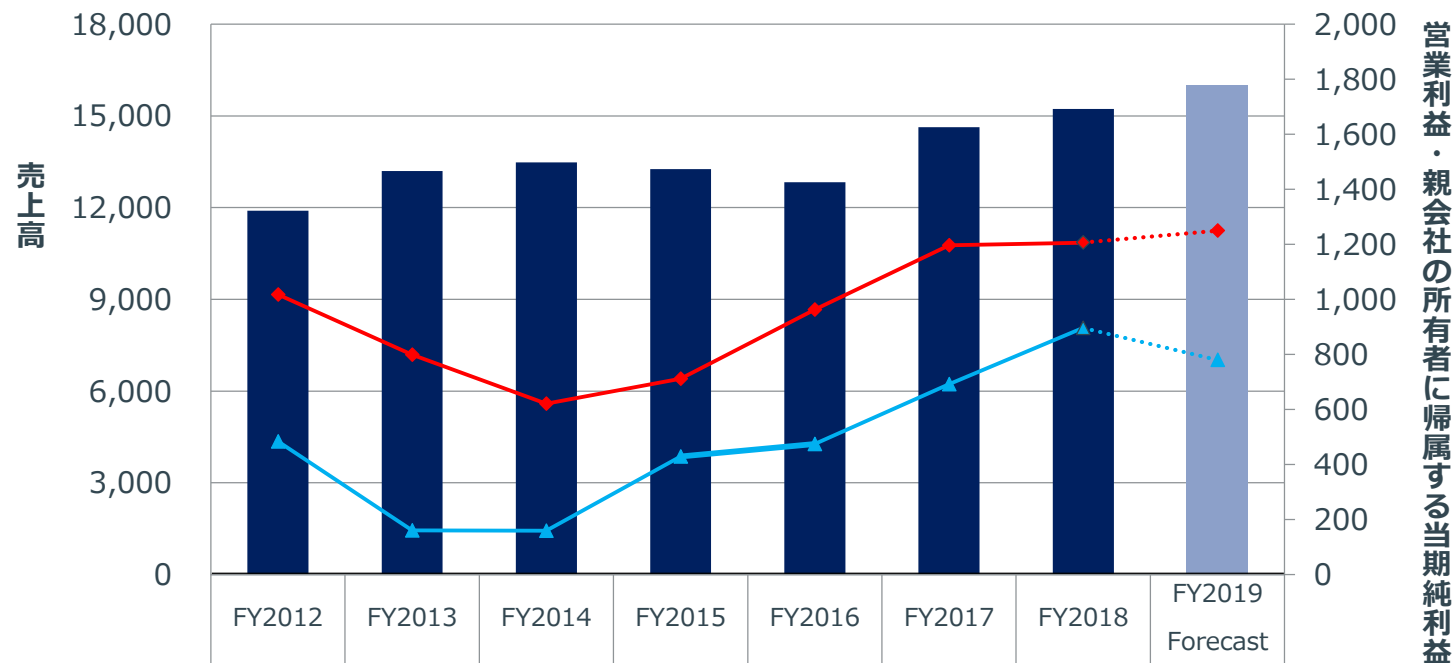




# 付属資料

# 通期業績の推移

(億円)



■ 売上高	11,900	13,200	13,483	13,263	12,826	14,635	15,229	16,000
◆ 営業利益	1,018	799	621	712	963	1,196	1,206	1,250
▲ 親会社の所有者に帰属する当期純利益	484	161	159	429	474	692	896	780
営業利益率	8.6%	6.1%	4.6%	5.4%	7.5%	8.2%	7.9%	7.8%
一株当たり配当金	¥130	¥90	¥90	¥90	¥90	¥105	¥115	¥120

\*当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。  
一株当たり配当金は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

		IFRS						
		12/12	13/12	14/12	15/12	16/12	17/12	18/12
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	5.8%	1.6%	1.4%	3.9%	4.3%	6.1%	7.7%
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	5.6%	4.0%	3.0%	3.5%	4.8%	5.7%	5.4%
自己資本比率	%	47%	51%	54%	55%	55%	53%	51%
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.56	0.50	0.42	0.40	0.37	0.38	0.43
営業CF/有利子負債	倍	0.32	0.29	0.27	0.40	0.47	0.42	0.35
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	209.51	69.85	68.85	185.60	205.14	302.12	399.51
EBITDA *4	億円	2,000	1,866	1,859	2,284	1,958	2,499	2,594

\*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

\*2 営業利益/総資産 (期中平均)

\*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

\*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

為替レート		FY2018					FY2019	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間	1 Q	年間
円/ドル	期中平均	108.30	109.07	111.46	112.90	110.43	110.20	110.0*
	期末	106.24	110.54	113.57	111.00	111.00	110.99	
円/ユーロ	期中平均	133.22	130.06	129.63	128.78	130.42	125.15	125.0*
	期末	130.52	127.91	132.14	127.00	127.00	124.56	

\* FY2019の前提

発表日	内容
1月31日	AR/MRガラス向けガラス基板を販売開始
2月6日	剰余金の配当（増配）に関するお知らせ
2月13日	不定形耐火物の製品ブランドを「THERVEK®(サーベック®)」に一新
2月19日	米国Taconic社のADD部門グローバルオペレーションを買収
2月20日	ミラノデザインウィーク2019にてインスタレーション「Emergence of Form」を披露
3月4日	スペイン合成医薬品原薬製造会社Malgrat Pharma Chemicals社の買収を完了
3月5日	トヨタ自動車より「グローバル貢献賞」など3部門を受賞
3月18日	自動車用ガラスアンテナの開発体制をグローバル3極で構築

## 予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

**AGC**

Your Dreams, Our Challenge

**END**